

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年1月10日

協議会名:	米子市地域公共公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>米子市は、鳥取県西部に位置し、面積は132.42km²、人口は149,313人(平成27年度国勢調査)、平成17年に米子市と淀江町が合併して誕生した。</p> <p>米子市を含む鳥取県西部地域の公共交通は、少子高齢化や自家用車の普及等に伴い公共交通の利用者の減少が続いており、収支悪化による行政負担の増加や路線バスの減便といった様々な問題が発生し、公共交通を取り巻く環境は今後も益々厳しくなることが予想されている。</p> <p>これに対応すべく策定された鳥取県西部地域公共交通再編実施計画においては、幹線となる市町村間循環線を導入し、これと重複する既設系統をこの循環線のフィーダー系統とすることで、過密ダイヤの緩和、ユーザーの利便性向上、運行の効率化を図ること等が計画された。</p> <p>そのため、フィーダー系統となる大山線、福万線では乗り換えが生じることになったが、JR駅(伯耆大山駅)を起点とし、鉄道と幹線(循環線)と接続されることにより、米子駅を経由せずに大型商業施設や医療機関へ行くことが出来るようになる等、日常生活面での幅広い移動ニーズへの対応が期待される。</p> <p>このフィーダー系統(大山線、福万線)が運行される郊外地域では人口は減少傾向にあるが、高齢化率は上昇傾向にあり、マイカーを所有しない高齢者や障がい者等の割合も増えている等、大山線、福万線はこの地域で生活をしていくための移動手段として必要不可欠な路線であり、存続させていくことが必要である。</p>